

第3 入試方法

(略)

(3) 学校推薦型選抜

出身高等学校長の推薦に基づき、調査書を主な資料としつつ、以下の点に留意して評価・判定する入試方法。なお、本選抜については、入学志願者自らの意志のみで出願できるものではなく、特定の大学・学部等で教育を受けるのに相応しい能力・意欲・適性等を有する入学志願者を高等学校長が判断するものであることから、推薦要件を可能な限り具体的に設定し、募集要項等により示さなければならない。

(略)

第4 試験期日

(略)

(1) 試験期日 令和8年2月1日から3月25日までの間

なお、総合型選抜及び学校推薦型選抜において、上記の期間（令和8年2月1日）よりも前に教科・科目に係る個別テストを実施する場合には、調査書等の出願書類に加え、第6の3又は5に掲げる評価方法と必ず組み合わせて丁寧に評価しなければならない。

ただし、高等学校教育に対する影響や入学志願者に対する負担に十分配慮する。

(略)

3 第6の3から5に掲げる評価方法については、令和8年2月1日より前から実施することができるが、高等学校教育に対する影響や入学志願者に対する負担に十分配慮する。

第6 評価方法

(略)

3 小論文・面接・実技検査等の活用

(略)

本記載の小論文・面接・実技検査等（第6の3）については、第6の1と異なる評価方法として規定している趣旨を踏まえ、令和8年2月1日以前に行う際、専ら教科・科目に係る知識等を問うこと（例えば、教科・科目に係る知識を問う問題を小論文等の形式で行うこと）にならないように留意しなければならない。

(略)

5 志願者本人が記載する資料や高等学校に記載を求める資料等の活用